

# 同窓会報

第34号

平成30年2月28日

発行 松陵会  
宮城 泉同窓  
高等 学校 会  
022-373-4125

印刷 刷出版(株)  
創文印刷出版  
022-222-0181



## 「生涯松陵生」

同窓会会長 4回生 佐々木 貴弘

第35回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、宮城県泉松陵高等学校同窓会へのご入会を心より歓迎致します。この会報が皆さんに配付される日が、皆さんにお会いする二回目になるかと思えます。

さて、昨年の11月30日(木)に総合的な学習の時間にて、3年生276名を対象に、「先輩として生涯松陵生」というタイトルで、講演をさせて頂きました。「松陵の教員としてもう一度母校に入りたい」。それが教職を志した理由であった私にとって、松陵生の前で講話をさせて頂いたら、貴重な機会を頂きました。私は4回生で、皆さんが生まれる前から松陵生をしています。当日は「私の高校時代」「恩師の教えの詞」、更には大学時代や就職後のこと、同窓会役員としての関わりから、今日の職場における松陵の後輩との出会いの話まで、いくつかエピソードを取り上げ、話をさせて頂きました。それらの中で一貫しているのは、「私の転機は高校時代、人間形成の場、今の自分の原点」ということです。表題にある「生涯松陵生」は、恩師、学友、学校や後輩も含め「幾年経ても、母校が好きだ」という思いに他なりません。この気持ちは消えないと思います。今、同窓会役員をしていて喜ばしいことは、高校3年間では重ならない(知りえない)

大きな励みになったりすることもあ  
るでしょう。また、現役生や後輩に  
「卒業生として」声をかけてもらい、  
定期戦や高校野球観戦、文化祭などを  
訪ねる機会もあるかもしれません。後  
輩の活躍する姿は、関係者にとっては  
大きな喜びでもあり誇りです。今、職場  
では、若き松陵卒の後輩達と共に、学  
外公演に向けたミュージカルの制作をし  
ています。何とも嬉しいのは、主役4名  
中の2名と準主役、大道具などで中心  
的な役割を担っているメンバーも松陵の  
後輩であるという事。このようなつな  
りも特別な喜びとなっています。



## 松陵の歴史と伝統

校長 斎藤 繁

同窓会の皆様におかれましては、本  
校に対して、日頃より多大なるご理解  
とご協力、ご支援を賜り、心より感謝  
申し上げます。

本校は、昭和56年に開校以来、「広  
く国際的視野を持ち、21世紀のわが国  
に貢献し得る人物を育成すべく、知・  
情・意の調和ある発達を図り、心身と  
もに健全で、しかも個性豊かな人間を  
育てることを目指す。」の学校目標を  
掲げて、「自律・啓発」「友愛・協調」

現在、同窓会では、ホームページや  
各種SNSを活用した交流に加え、民  
間の会社に委託し、同窓生名簿の作成  
を進めております。母校の式典行事や  
部活動支援などに向けて、情報配信や  
支援体制を安定的に構築するために活  
動しています。今後も、「松陵がある  
かぎり」母校の発展を共に見守ってい  
きましょう。末筆となりましたが、後  
輩の皆様と母校の益々の発展を祈念致  
します。「頑張れ松陵生 頑張れ後輩」

「堅忍・不撓」の三つの校訓のもと37  
年の歩みを続けて参りました。この間、  
卒業生の皆様も1万名を超え、名実と  
もに歴史と伝統を誇っております。

先日、本校の10周年記念誌を見てい  
たところ、初代校長 佐竹正久先生が  
「開校の頃」というコラムで、当時の  
教職員の苦労や学校を創り上げていく  
意気込み、そして生徒に対する熱い思  
いを語っておられました。入学式前日  
の4月7日に新入生36人と先生方が対

面し、先生方のスピーチを真剣に聞き  
入る生徒を見て「魂が入った」と感じ  
たと、その時の感動を述べています。  
また、初代教頭 日下兵一先生は、「更  
に生成発展を」というコラムで、校名  
の由来を述べておられました。学校の所  
在地が県民の森に囲まれた松の木茂  
る丘陵地帯であること、地元の名産に  
ふさわしいこと、そして「松陵」とは、  
晩唐の詩人皮日休の七言絶句「松江早  
春詩」に出てくる格調高いことばであ  
ることが紹介されておりました。さら  
に、初めて入学してくる生徒たちの入  
学に対する喜びや学校の歴史を創り上  
げていく意気込みと感動、本校設立に  
向けて当時の泉市長が県に請願を行っ  
たり、県知事が記者会見で校名を発表  
するなど、大きなニュースとして取り  
上げられてきたことなどが記念誌に綴  
られておりました。このような輝かし  
い本校の歴史と伝統を顧みずと改め  
て本校の素晴らしさを感じました。し  
かし、開校当時の中学卒業生の増加と  
は逆に、現在は少子化という社会情勢  
となり、残念ながら平成30年度より入  
学生の定員が1クラス減となること  
が宮城県教育委員会から発表されまし  
た。

生徒の定員は少なく  
なりますが、これま  
で続いていた歴史と  
伝統、そして学校の  
教育方針は、その時々  
のニーズに応えなが  
らもしっかりと受け  
継いでまいります。  
考えてまいります。

本校生たちは、日々  
の学習では授業に真  
剣に取り組み、昼休  
みや放課後にも、先  
生方を捕まえて質問  
をするなど、充実し  
た学校生活を送る中  
で、夢の実現に向け  
て日々努力しております。放課後は部  
活動が活発に行われ、澆刺とした元気  
な声が体育館や校庭に響いています。  
今年度は弓道部女子が県総体で3位、  
弓道部男子が県新人大会で3位に入賞  
するなどの成績を残しました。特に5  
月の泉三高定期戦においては数年ぶり  
の第2位と、生徒たちの奮闘が光りま  
した。生徒たちとともに、この勝利を  
喜ぶとともに、来年度の総合優勝に向  
けてさらに努力を重ねたいと思います。  
また、ボランティア活動も盛んに行わ  
れ、地域の皆様とともに行事に取り組  
んだり、放課後の児童センターで小学  
生に勉強を教えたりと、地域社会への  
貢献に努めております。何よりも、地  
域の皆様や周りで見守って下さる多く  
の皆様から、お褒めの言葉をいただく  
本校を誇らしく思っております。

本校も「不惑」の年が近付き、これ  
まで連続と続いていた歴史がますます  
確固たるものとなってきております。  
同窓生の皆様方には、本校と本校生を  
あたたかく見守っていただき、変わら  
ぬご支援とご協力を賜りますようお願い  
申し上げます。

平成30年度  
宮城県泉松陵高等学校同窓会  
総会・懇親会ご案内

日時 平成30年8月11日(土)  
受付会 17:00  
総懇親会 17:30~  
会場 ホテル白萩 総会終了後  
022-265-3411  
会費 3,000円

ご招待恩師は5回生(昭和63年3月卒)15回生  
(平成10年3月卒)25回生(平成20年3月卒)35  
回生(平成30年3月卒)の先生方にお声掛けする  
予定です。



# 卒業生へメッセージ

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

泉松陵で過ごした高校三年間は、いかがだったでしょうか。三年間を振り返ってみるとあっといふ間で、楽しかった思い出もあれば辛くて苦しい出来事もたくさん経験してきたことかと思えます。授業、部活動、放課後、様々な行事をかけたがえのない仲間と共に過ごし数え切れないほどの思いがいくつも蘇ることでしょう。ですが、高校生の今だからこそ出来る経験こそが皆さんにとってはおかけがえのない宝物です。私の高校三年間を思い返すと、不安な事や初めて経験することがたくさんあり、何度も嫌になり投げ出したと思うことがありましたが、周りの友達や学校の先生の支えがあったからこそ乗り越えられたと思います。

一人ずつ将来進む道は異なると思いますが、それぞれ少しずつ階段を踏みながら一歩ずつ夢に近づければいいと思います。夢を叶えるという事は決して簡単なことではありませんが、夢に対する強い想いと努力を怠らなずに精進し続けてください。



同窓会総会2017

私は現在聖和学園短期大学の学生です。四月に入学してからもう

すぐ一年が経とうとしています。高校生活よりさらに人との交流機会が多くなり経験する事や学びの幅が広いに広がり、物事の考え方や捉え方なども変わると、短大生活を通して実感しています。このように進学先や就職先で様々な出会いや経験を通じて、今後の人生を左右する出来事や自分の将来が変わるような出来事が起こるかもしれません。それらは決して無駄な事ではなく自分の将来に必ず役立つと思います。

高校生、大学生、社会人であろうと常に人とのつながりを大事にし、周りの方々の力を借りながら、一歩一歩前へ進んでください。その一歩を大切に、確実に成長し続けてください。

これからも卒業生の皆さんが御活躍されることを応援しています。  
34 回生幹事長 齋藤野乃花

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。  
何を書いたらいいのだろうと悩んだ私は松陵高校での思い出を振り返ってみようと思い緑翠を開いてみました。

校歌が載っているページを見たとき無意識にまだ歌えるかなと少し口ずさんで、高校に入学をして間もない頃の音楽の授業を思い出しました。まだ慣れないクラスで校歌を覚えるために一節ごとにひとりずつ歌っていく授業、すごく緊張したことを覚えていてます。そして、応援団の迫力に圧倒されたながらも黒いタオルを振り回した応援練習、熱戦を繰り広げた泉三高定期戦、クラスや部活で一生懸命準備した松陵祭、クラスの仲

間と一丸となって汗を流した球技大会、走ることが好きな人も苦手な人も共に完走を目指して頑張ったマラソン大会、あっといふ間に終わってしまった修学旅行、休み時間の友人との何気ない会話。ページを捲る度に楽しかった思い出が蘇り、書き出していくと本当にキリがありません。

三年間の高校生活で楽しいことばかりではなく、部活で結果が残せない、授業についていけない、時に人間関係がうまくいかないときももあったかと思えます。しかしそんな大変だった経験の数々も高校生だったからこそ経験できた大切な思い出です。卒業をしてから始まる新しい環境での生活に最初は戸惑いや迷いを感じるときもあるかとは思いますが、そんな時は今までの経験を思い出して、時に友人と励まし合いながらきつと乗り越えることができます。

最後に卒業生の皆さんにヘンリー・フォードの言葉を贈ります。自分で限界を決めることなく、向上心を持って前へ前へと進んで行ってください。応援しています。「どんな人間も、自分が思っている以上のことができる。」

卒業生の皆様、この度は泉松陵高校の御卒業おめでとうございます。それぞれの進路が決まり、新たな道へ進むことお祝い申し上げます。並びに、高校卒業まで支えて下さった保護者の皆様にもお祝い申し上げます。

さて、皆様の高校三年間はどのようなものだったでしょうか。三年間を振り返ると新しい経験ばかりだったかと思えます。私の高校生活を振り返ると、思い通りにいかないことの方が多かったような気がします。部活動や勉強では思った成果を出せな

かったり、先生方には厳しい御指導をたくさんいただきました。その様な時、私も「妥協をしよう」と考えていました。しかし、今となってはこのような経験も糧となり現在の生活に活かすことができていると思います。皆さんの高校生活もきつともうまくいくことばかりではなかったと思います。それでも学生生活で学んだことは必ず将来に役立ちます。

辛い思い出ばかりではなく楽しかった思い出もあったと思います。苦難を共にした友達、先生方、家族を皆さんなりに大切にしたいと思えます。これからは大学に行くもの、就職するもの、道は人それぞれだと思います。新しい環境に最初は馴れ

## 平成30年版名簿発行のお知らせ

このたび、平成30年版同窓会名簿を発行する運びとなりました。同窓生の皆様には、名簿掲載内容の確認はがきや名簿購入の案内状を発送して作業を進めてまいりますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

- 名簿発行日：平成30年11月下旬
- 体裁：A4判 (約230頁)
- 名簿価格：4,500円

### 名簿作成委託先

このたびの名簿作成は、正式な同窓会事業として株式会社サラト(兵庫県姫路市)に委託しております。株式会社サラトのホームページ <http://www.salat.co.jp>

## 平成二十九年度 教職員人事異動

34 回生副幹事長 佐藤 敦

- 〔転出者〕
- 大石 正芳 (理科) 巨理高へ
  - 小岩 且典 (数学) ご退職
  - 川田 千秋 (地歴公民) ご退職
  - 小野木 徹 (英語) ご退職
  - 菊地麻里子 (音楽) 富谷中へ
  - 佐藤 未央 (英語) 光明支援学校へ
  - 角田 千恵 (理科) 仙台南高へ
  - 小澤 裕子 (理科) 宮城広瀬高へ
  - 高橋真由美 (数学) 万石浦中へ
  - 小山 清子 (副参事兼課長補佐(総務担当)) 震災復興・企画部統計課へ
- 〔転入者〕
- 佐藤 浩之 教頭(地歴公民)
  - 古川 支援学校より
  - 早坂 英明 (数学) 古川黎明高より
  - 匹田 千秋 (地歴公民) 再任用
  - 桂島 猛 (英語) 石巻好文館高より
  - 小原 仁史 (地歴公民) 黒川高より
  - 菊地 知彦 (音楽) 巨理高より
  - 松本 由美 (英語) 古川黎明中より
  - 赤間 浩一 (理科) 仙台南高より
  - 佐藤 浩之 (理科) 仙台向山高より
  - 國分 修司 (数学) 多賀城高より
  - 金子 正幸 (事務室長) 泉高より



高総体、その他の大会結果

★卓球部 (男子)  
 学校対抗 1回戦 泉松陵3-12 柴田農林川崎  
 2回戦 泉松陵0-13 利府  
 シングルス 3年平塚 1回戦敗退  
 全日本卓球選手権大会ジュニアの部宮城県予選  
 シングルス 2年石橋 1回戦敗退  
 泉松陵3-11 仙台一 (ベスト16)  
 2回戦 泉松陵1-3 東北学院 (ベスト16)  
 3回戦敗退

★卓球部 (女子)  
 シングルス 2年石橋 予選敗退  
 ★バドミントン (男子)  
 地区総体予選・新人  
 シングルス 3年平塚 予選敗退  
 ダブルス 3回戦敗退  
 渡辺・菅原 3回戦敗退  
 シングルス 3回戦敗退  
 菊地 3回戦敗退  
 学校対抗戦 対泉1-3 敗退  
 1回戦 対古川黎明3-10 勝利  
 2回戦 対学院櫛ヶ岡2-3 敗退

★バドミントン (女子)  
 地区総体予選  
 シングルス 3回戦敗退  
 ダブルス 3回戦敗退  
 菅原・佐藤 2回戦敗退  
 シングルス 2回戦敗退  
 菅原 2回戦敗退  
 学校対抗戦 対気仙沼3-0 勝利  
 1回戦 対青陵2-1-3 敗退

★バレーボール (女子)  
 地区総体予選  
 2回戦 対聖トミニコ学院高0-12 負け  
 3回戦 対東北0-1-3 負け  
 仙台市民総体  
 1回戦 対東北生活文化大学高0-1-2 負け  
 2回戦 対東北生活文化大学高0-1-2 負け  
 1回戦 対尚絨学院高0-1-2 負け  
 4回戦 対聖ウルスラ学院高0-1-2 負け

★バスケットボール (男子)  
 地区総体予選  
 2回戦 泉松陵57-61 宮城県工業  
 3回戦 泉松陵75-91 仙台育英  
 ★弓道 (男子)  
 個人戦 2次予選敗退  
 団体戦 2次予選敗退  
 上位5チームによる決勝リーグ戦進出  
 (崎・千葉周) 1勝3敗 第4位入賞

★弓道 (女子)  
 個人戦 決勝進出 (8位タイ)  
 団体戦 決勝進出 (8位タイ)  
 上位5チームによる決勝リーグ戦進出  
 (藤・柳橋) 2勝2敗 第3位入賞

★柔道 (男子)  
 個人戦 2次予選敗退  
 団体戦 2次予選敗退  
 上位5チームによる決勝リーグ戦進出  
 (藤・柳橋) 2勝2敗 第3位入賞

★柔道 (女子)  
 個人戦 2次予選敗退  
 団体戦 2次予選敗退  
 上位5チームによる決勝リーグ戦進出  
 (藤・柳橋) 2勝2敗 第3位入賞

★剣道 (男子)  
 個人戦 決勝トーナメント出場ならず  
 団体戦 3回戦敗退  
 3年 佐藤駿 3回戦敗退  
 個人予選等 2回戦敗退  
 2年 及川・2年藤欠 2回戦敗退  
 1回戦 決勝トーナメント進出ならず

★剣道 (女子)  
 個人戦 決勝トーナメント進出ならず  
 団体戦 1回戦敗退  
 1回戦 対小田田農林 1勝4敗で敗退  
 2回戦 対小田田農林 1勝4敗で敗退  
 個人予選等 2回戦敗退  
 2年 山田 2回戦敗退  
 個人予選等 2回戦敗退  
 1回戦 対小田田農林 1勝4敗で敗退  
 2回戦 対小田田農林 1勝4敗で敗退

★ソフトテニス (男子)  
 個人戦 2次予選敗退  
 団体戦 2次予選敗退  
 上位5チームによる決勝リーグ戦進出  
 (藤・柳橋) 2勝2敗 第3位入賞

★ソフトテニス (女子)  
 個人戦 2次予選敗退  
 団体戦 2次予選敗退  
 上位5チームによる決勝リーグ戦進出  
 (藤・柳橋) 2勝2敗 第3位入賞

★卓球部 (男子)  
 個人戦 2次予選敗退  
 団体戦 2次予選敗退  
 上位5チームによる決勝リーグ戦進出  
 (藤・柳橋) 2勝2敗 第3位入賞

★卓球部 (女子)  
 個人戦 2次予選敗退  
 団体戦 2次予選敗退  
 上位5チームによる決勝リーグ戦進出  
 (藤・柳橋) 2勝2敗 第3位入賞

★バレーボール (男子)  
 個人戦 2次予選敗退  
 団体戦 2次予選敗退  
 上位5チームによる決勝リーグ戦進出  
 (藤・柳橋) 2勝2敗 第3位入賞

★バレーボール (女子)  
 個人戦 2次予選敗退  
 団体戦 2次予選敗退  
 上位5チームによる決勝リーグ戦進出  
 (藤・柳橋) 2勝2敗 第3位入賞

★水泳部  
 個人戦 2次予選敗退  
 団体戦 2次予選敗退  
 上位5チームによる決勝リーグ戦進出  
 (藤・柳橋) 2勝2敗 第3位入賞

★水泳部  
 個人戦 2次予選敗退  
 団体戦 2次予選敗退  
 上位5チームによる決勝リーグ戦進出  
 (藤・柳橋) 2勝2敗 第3位入賞

★水泳部  
 個人戦 2次予選敗退  
 団体戦 2次予選敗退  
 上位5チームによる決勝リーグ戦進出  
 (藤・柳橋) 2勝2敗 第3位入賞

★水泳部  
 個人戦 2次予選敗退  
 団体戦 2次予選敗退  
 上位5チームによる決勝リーグ戦進出  
 (藤・柳橋) 2勝2敗 第3位入賞

★水泳部  
 個人戦 2次予選敗退  
 団体戦 2次予選敗退  
 上位5チームによる決勝リーグ戦進出  
 (藤・柳橋) 2勝2敗 第3位入賞

★茶道部  
 第33回 泉松陵地区・学生・生徒・学生茶会 参加 (H29.10.29)

★華道  
 第2回 宮城地区・学生・生徒・学生茶会 参加 (H29.10.29)

★演劇部  
 泉松陵高等学校演劇コンクール 泉宮城野地区大会出場  
 1月下旬に第2回単独公演  
 泉宮城野地区演劇協議会 功労賞

★科学部  
 松陵祭で実験の展示 (2017.7.8)  
 仙台市松陵市民センター主催「ジュニアちゃんねる」わくわく科学実験「2017」実施 (2017.7.29)

★写真部  
 松陵祭に参加 (展示・発表、一眼レフ体験ラミネート写真販売)  
 第41回全国高校総合文化祭写真部門展示にて受付業務  
 第16回松陵市民センターまつりに出品・展示

★応援団・チアリーディング  
 鶴が丘児童センターボランティア「小学生チアリーディング学習」(H29.5.24) 参加  
 松陵祭ステージの発表参加 (H29.7.7)

○松陵祭ステージの発表参加 (H29.7.7)

○松陵祭ステージの発表参加 (H29.7.7)

○松陵祭ステージの発表参加 (H29.7.7)

○松陵祭ステージの発表参加 (H29.7.7)

○松陵祭ステージの発表参加 (H29.7.7)